

# なると金時世界ブランドプロジェクト

(藤原農園)

## 背景・課題

なると金時の輸出がアジア圏を中心に伸長する中、栽培面積の拡大に向けた集出荷作業の効率化や、海外輸送中の品質低下を抑制するための貯蔵技術の確立による輸出拡大が課題となっていた。

## 補助内容

- ◆対象期間：平成29年度～令和元年度※ 令和元年度は、別の単年度の企画提案型事業として補助
- ◆補助対象：（平成29年度）自動選別機，貯蔵庫，環境測定装置，  
（平成30年度）輸出品の品質調査，（令和元年度）キュアリング設備，育苗施設
- ◆補助金額：（平成29年度）808万円，（平成30年度）39万円，（令和元年度）374万円

## 主な取組

- ◆なると金時の出荷規格の統一や、選別作業工程の農福連携を推進するため、自動選別機を導入。



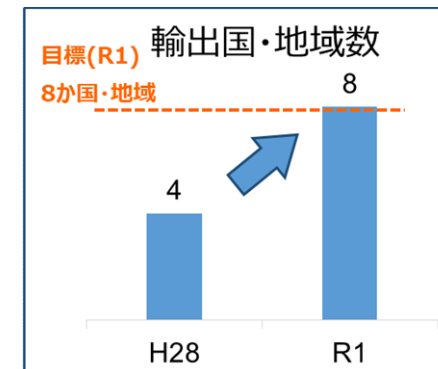
- ◆海外輸送中の品質保持のため、キュアリング設備等を導入。県等の関係機関と連携して新たな貯蔵技術（キュアリング処理）の条件を検討。

香港等の海外現地で輸出品の品質調査を実施・評価。



## 主な成果目標の達成状況

- ◆貯蔵技術（キュアリング処理）の品質保持効果を実証・確認。輸出先・輸出量ともに順調に拡大。



## 今後の取り組み

- ◆選別機の精度改善や、貯蔵技術(キュアリング処理)を活用した海外輸出のさらなる拡大を図る。